



# がっこう 学校だより

がっこう  
9月号



**Challenge  
Dream  
Interaction**

れいわ ねん がつ にち  
令和2年8月31日  
よこはま しりつかみい だしょうがっこう  
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

## なつやす お 夏休みが終わって

こうちょう よこやまよしあき  
校長 横山 美明

しゅうかん みじか なつやす お がつ にち あつ なか こ たち げんき どうこう  
2週間という短い夏休みが終わり、8月17日から暑い中を子ども達は元気に登校しています。こ  
じき どうこう ことし れいねんいじょう なつ あつ かん こうしゃない まど あ かん  
の時期からの登校ということもあり、今年は例年以上に夏の暑さを感じます。校舎内も窓を開けて換  
き れいぼう おんどせってい ひく ひ じょうきょう  
気をしながらの冷房ということで、温度設定を低めにしてもなかなか冷えない状況ではありますが、  
それでも校舎内に入ると外よりは心地よく感じられます。新型コロナウイルス感染症対策と同時に  
すいぶんほきゅう おこな ねつちゅうしょう よぼう つと おも  
水分補給もしっかりと行い熱中症予防にも努めてまいりたいと思います。

れいねん ちが い なつやす あ まいとしたいの じゅうけんきゅう さくひん ことし かざ  
例年と違うということ言えば、夏休み明けに毎年楽しみにしている自由研究の作品が今年は飾ら  
れていないことです。子ども達はこの夏休みをどんな風に過ごしたのだろう、そんなことを考えなが  
きょうしつ まわ  
ら教室を回っています。

わたしじしん ほど で なつやす はじ で  
さて、私自身もこれ程どこにも出かけない夏休みは初めてでした。出かけることができないので、  
あさゆう きおん さ じかん しゅみ えんげい せい だ ことし いじょう  
朝夕の気温の下がる時間に趣味のベランダ園芸に精を出しておりましたが、今年はこれまで以上にいろ  
かじゅ み なか みの かじつ れきし ふる  
いろな果樹が実をつけました。中でもイチジクがよく実りました。イチジクという果実の歴史は古く、  
ギリシア神話やローマ神話にも登場します。イチジクは漢字で無花果、「花の無い果実」と書きます。  
ほんとう はな な いっばん かじつ た み うちがわ しろ ちい はな  
ただし本当に花が無いというわけではなく、一般に果実として食べる実の内側に白くて小さい花をた  
くさん咲かせます。花が外側から見えないのでこの漢字が当てられたようです。また、イチジクという  
なまえ み にち じゅく いちじゅく てん  
名前は、その実が1日に1つ熟すから「一熟（イチジュク）」、それが転じて「イチジク」となった  
い な とおわ や にち こ しゅうかく  
とも言われています。まさにその名の通り我が家でも1日1個のイチジクを収穫することができまし  
はなことば ひと き み ほうふ ほうわ ほうさく じょうたい  
た。イチジクの花言葉は、一つの木にたくさんの実をつけることから「豊富」「飽和」、豊作な状態  
あらか ゆうふく へいわ しあわ いみ あらか つ おな へいわ  
を表した「裕福」「平和」など、幸せな意味を表すものが付けられています。同じように「平和」  
はなことば れいねんいじょう み しょくぶつ へいわ にちじょう ねが みの  
を花言葉にもつオリーブも例年以上に実をつけました。植物も平和な日常を願ってたくさん実って  
いるのかなと感じました。

こ たち あたら がっこう せいかつようしき み つ せんげつごう か  
子ども達には「新しい学校の生活様式」が身に付いてきています。先月号に書かせていただいたよ  
ねんせい ちゅうしん うんどうかい か かみしょうかい きずな じゅんび すす  
うに、6年生が中心となって運動会に代わる「SD上小会～絆～」の準備を進めています。これ  
おな み にち にち へいわ へいおん にちじょう  
までと同じにはならなくともイチジクが実をつけるように1日1日、「平和」で「平穏」な日常にな  
ねが  
っていくことを願っています。

さいご なつやす あ ど こ もうしょ なか こ たち どうげこう あんぜん みまも  
最後になりましたが、夏休み明けの30℃を超える猛暑の中、子ども達の登下校の安全を見守ってく  
がくえんたい みなさま あらた かんしゃもう あ おも  
ださっている学援隊の皆様にご改めて感謝申し上げます。